

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成29年12月20日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	500kV開閉所壁貫ブッシング室北側扉において、鍵穴が回らず解錠できないことが認められたため、当該扉を点検・修理。	GⅢ	
2	2号機	換気空調系中央制御室冷凍機(B)(D)の点検時期を平成29年12月としていたが、現在点検中である同系冷凍機(C)の蒸発器を再分解する影響により期限までに点検を行うことが困難になったことから、マニュアルに従い、検討・評価し点検時期を平成30年1月まで延長。	GⅢ	
3	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋圧縮空気系除湿装置送風機(A)において、プーリー(ベルト車)機構と軸を固定するクサビ及び座金の脱落が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、同系送風機(B)を起動。	GⅢ	
4	その他	一次水処理建屋南東扉において、扉のデットボルト(扉を施錠するためのカンヌキ)が閉状態(扉から出た状態)で変形していることが認められたため、当該扉を点検・修理。	GⅢ	